

私の好きな男は、何かに夢中にな
ってそれを熱く語ってくれる男。傍
らで聞いている私もワクワクしてし
まうような輝いている男。

私が恋愛し、結婚した男はそんな
男だった。ムツゴロウのように大の
動物好き。結婚する前はハムスター
を飼っていた。動物の臭いに弱い私
は閉口したけど……。結婚してからも、
猫、犬、うさぎ、鳥、熱帯魚、こい
などを飼った。熱帯魚の大きな水槽
が、狭い2DSの部屋を占領していた。
わからない事があると熱帯魚屋さん
を家に呼んで教えてもらっていた。
いろいろな鳥をかごから放ち、部
屋中に飛ばす事もあった。ヒナをこ
たつの中に入れて餌付けもしていた。
オウムにはスキムミルクに浸したパ

ンを。私は恐かった。ある時、傷ついて飛べなくなった大きな鳥を持ち帰り、ベランダで毎日世話をしていた。その鳥が彼の手から離れ飛び立った時、彼はうれしそうだった。また台風の時、ズブぬれのレインコートを着た彼の手にはダンボール箱。中にはズブぬれの子犬。体を洗いエサをやっていた。

昔話のように鳥や犬の恩返しはなかったけど、私はつくづく彼は優しい男だなあと思った。彼は釣りにも擬った。高価な棹も何本も買った。釣りサンデーの会にも度々参加した。釣ってきた魚は器用に捌いた。彼の好きはまだまだあった。カメラの腕も良く、子どもものスナップ写真も上手に撮った。野球観戦も好き。大

のトラキチ。他にもスポーツ、植物
読書など。これだけ趣味につきこめ
ば、いくら共働きでも家計はパンク
寸前。私の人生最大の失敗は、そん
な夫にきちんと意見できなかつたこ
と。夫は亡くなる前に私に謝ってく
れたけれど。気付くのが遅すぎます。
どんなに生き物に優しく、豊かな趣
味を持っても家族を犠牲にしてのそ
れは許されませんよね。頭脳明晰、
知識も豊富、マスクも良く、弁もた
つ：いい所いっぱいなの夫なのに。今
の私も、好きな事いっぱい趣味三
味の毎日。彼の二の舞にならないよ
うにしないでね。